

○議長（長澤健君）

続いて通告3番、5番 望月眞君の一般質問を行います。

5番 望月眞君。

○5番議員（望月眞君）

私は、議員になって初めての一般質問で、現教育会館を活用しての資料館開設の必要性について質問しました。資料館開設が現実的になっていることを大変嬉しく思っています。そこで、まず「富士川町歴史資料館」開設についての質問を行います。最初の質問です。「富士川町歴史資料館」これは仮称ですが、開設に向けて現時点での進捗状況を伺います。

○議長（長澤健君）

生涯学習課長 依田正紀君。

○生涯学習課長（依田正紀君）

ただいまの歴史資料館開設に向けての進捗状況についてお答えいたします。これまで、町では江戸時代の物流拠点として栄えた富士川舟運の歴史を後世に伝えていくため、舟運資料の情報提供を呼び掛け、資料収集を行ってきました。収集した資料等の活用方法としては、町が所蔵している富士川舟運に関する資料も含め、公開ができる施設の整備に向けた検討を進めてきました。

施設整備候補地としましては、活性化施設「塩の華」の今後の活用策を検討する中、文化財保護審議会や教育委員会の意見を基に、当該施設を資料展示施設として改修することとし、過日、地域説明会を行ったところであります。

現在は、「塩の華」を所管する産業振興課と調整を行い、改修に向けた準備を進めているところであります。以上です。

○議長（長澤健君）

望月眞君。

○5番議員（望月眞君）

本議会で、富士川町交流センター塩の華条例について管理運営を町が行う条例改正案が提起されています。新たな建物を建てず、現在の「交流センター塩の華」を利用することは賛成です。「交流センター塩の華」は、中山間地活性化事業の補助金を得ていますが、活性化事業としての継続も図れるのかを伺います。

○議長（長澤健君）

生涯学習課長 依田正紀君。

○生涯学習課長（依田正紀君）

ただいまの質問にお答えします。「交流センター塩の華」は、平成14年に中山間地域総合整備事業の交付金を活用し整備を行いました。この補助事業は、活性化施設の利用目的として、地域の郷土資料の展示、保存、普及等も該当となっております。

こうしたことから、歴史資料館として整備した後も、活性化事業の目的は継続されるものと考えております。以上です。

○議長（長澤健君）

望月眞君。

○5番議員（望月眞君）

施設を活用して進めていくことに賛成いたします。

(2)の質問ですが、独創性のある「富士川町歴史資料館」になることが望まれますが、資料館開設のコンセプトについて伺います。

○議長（長澤健君）

生涯学習課長 依田正紀君。

○生涯学習課長（依田正紀君）

ただいまの資料館開設のコンセプトについてお答えをいたします。現在、舟運資料を中心とした歴史資料館と、望月百合子氏などの当町にゆかりのある人物を紹介する人物館を「塩の華」に整備し、併設する富士川町スポーツミュージアムと併せて、当町の歴史と文化の情報拠点となる歴史文化施設の整備を計画しております。当施設は、これまで語り継がれてきた町の歴史や、当町にゆかりのある人物の生き方を形にし、歴史・文化を楽しく学び伝え、郷土学習を支援し、歴史資産を後世に伝えることをコンセプトと考えております。

町内はもとより、県内の小中学生の総合学習にも参考となる展示を行い、舟運など当町の歴史を来館者にわかりやすく伝え、未来へ継承することを目指しております。以上です。

○議長（長澤健君）

望月眞君。

○5番議員（望月眞君）

私は9月の定例議会で、人物館、資料館についての構想についてもお伺いしていましたが、今回そういったものを含めながら、文化保存と資料保存と、それから子どもたちの学習の場になるような施設をとということで、方向性について賛成します。

それで、富士川町の歴史と文化の情報拠点となるような独創的な「資料館開設」となることを望みますが、新たな資料館の名称も重要だと思います。単に「富士川町歴史資料館」とするのではなく、交流センター塩の華を活用することも踏まえて、例えば「塩の華富士川舟運資料館」というようなインパクトの強い名称にしたら良いと思いますが、いかがでしょうか。

○議長（長澤健君）

生涯学習課長 依田正紀君。

○生涯学習課長（依田正紀君）

ただいまの質問にお答えします。施設の名称については、交流センター塩の華が富士川舟運最盛期の河岸に立ち並んだ蔵をイメージしたデザインであることから、ただいまいただいたご意見を参考に、今後も施設内を具体化してきた段階で決定していきたいと考えております。以上です。

○議長（長澤健君）

望月眞君。

○5番議員（望月眞君）

ぜひ、検討資料にさせていただきたいと思います。

3の質問です。現時点においてどのような展示をしようと考えているのか、資料館の展示内容構想について伺います。

○議長（長澤健君）

生涯学習課長 依田正紀君。

○生涯学習課長（依田正紀君）

ただいまの歴史資料館の展示内容構想についてお答えいたします。町が所蔵する富士川舟運に関する資料は約400点あり、令和元年7月から呼び掛けている資料収集は引き続き進めているところであります。これらの資料の中から、資料館に展示する資料の選定や、人物館に紹介する人物の選定は、施設を整備するにあたり大変重要であり、その選定については、町の歴史や人物に視野が広く、造詣や関心の深い方からの意見が必要であると考えております。

こうしたことから、展示内容については、今後、検討委員会を立ち上げ、幅広く意見を聞く中で決定していきたいと考えております。以上です。

○議長（長澤健君）

望月眞君。

○5番議員（望月眞君）

展示内容については検討委員会を立ち上げ、今後検討していくという回答を得ましたが、再質問をさせていただきます。

本町には、1607年、慶長12年の富士川舟運の開通から、身延線の全線開通する1928年、昭和3年までの321年間に及び、青柳・黒沢・鰍沢の三河岸を中心に繁栄した全国に誇れる歴史があります。青柳河岸には八代代官所支配、黒沢河岸には石和代官所支配、鰍沢河岸には甲府勤番支配の年貢米が集積される米蔵が建ち並びました。鰍沢河岸には、諏訪高島藩と松本藩の米蔵もありました。鰍沢ばやしや鰍沢の山車は、鰍沢宿の繁栄を今も物語っています。青柳宿では、現在の道の駅ふじかわ付近ですね、富士川河岸を中心にした付近で、毎月2と6のつく日、6回楽市が開催され「六斎」として賑わったようです。六代目三遊亭円生の落語噺「鰍沢」では、昌福寺や妙法寺も舞台になっています。十返舎一九の「甲州道中記」にも富士川舟運が描かれています。葛飾北斎の富嶽三十六景「甲

州石斑澤」は有名です。法務局など国の出先機関が集中しているのは、本町が繁栄していた証でもり、シビックコア構想も本町の歴史の経過の中にあると言えます。舟運を中心にした本町繁栄の歴史が解るような資料展示をしたら良いと思いますがいかがでしょうか。

○議長（長澤健君）

生涯学習課長 依田正紀君。

○生涯学習課長（依田正紀君）

ただいまの質問にお答えします。歴史資料館につきましては、町の歴史を後世に残すため、舟運資料を中心とした展示整備を予定しているところであります。以上です。

○議長（長澤健君）

望月眞君。

○5番議員（望月眞君）

ぜひ、検討のひとつにしていただきたいと思います。

再質問です。同じような回答になるかと思いますが、舟運による年貢米運搬の帰り荷として、塩や海産物が運ばれ物資の交流も盛んになりました。特に瀬戸内赤穂の塩は、鰯沢の塩蔵でかますに詰め替えられ「鰯澤」という版を押してブランド商品化しました。鰯澤塩は塩尻から高遠や伊那まで運ばれ、伊那地方では今でも塩のことを「鰯澤」という人もいます。私は、樋口正則議員、井上和男議員と一緒に上伊那郡辰野町の視察に行きましたが、天竜川の支流龍溪溪谷で再出される粘板岩を原料とする龍溪硯は雨畑硯と並ぶ伝統工芸品で町役場にも展示されていました。この龍溪硯の職人の多くは、鬼島集落から移り住んでいます。富士川舟運を介した物資の流通や人の交流も学べる展示内容も考えると良いと思いますがいかがでしょうか。

○議長（長澤健君）

生涯学習課長 依田正紀君。

○生涯学習課長（依田正紀君）

ただいまの質問にお答えします。展示内容については、ただいまいただいたご意見も参考にしながら、今後立ち上げる検討委員会において検討して参ります。以上です。

○議長（長澤健君）

望月眞君。

○5番議員（望月眞君）

再質問です。箱原天神ヶ滝は富士川一のアクバであり、舟運開削の最大の難所であり、その工事の様子を記した絵図が残されています。富士川舟運開削事業に関わる展示コーナーも開設したら良いと思いますがいかがでしょうか。

○議長（長澤健君）

生涯学習課長 依田正紀君。

○生涯学習課長（依田正紀君）

ただいまの質問にお答えします。富士川舟運の開削事業の様子は、町指定文化財として、天神ヶ滝の改修の功を讃えて奉納された絵馬が現在も残っております。

こうした資料を含め、今後立ち上げる検討委員会において、展示内容を検討して参ります。以上です。

○議長（長澤健君）

望月眞君。

○5番議員（望月眞君）

ぜひお願いします。富士川の開削工事は、徳川家康の命令で角倉了以、本名吉田与七光好が行ったことは知られています。了以は、朱印船貿易で大変儲けて日本でも有数になりましたが、企業で儲けたものは、社会に貢献するために返すべきだというような思想が根底にあって、今でいえば企業の社会貢献です。いろいろな開削工事を手がけます。京都の大堰川や保津川・高瀬川、こういった工事も了以が行った開削工事です。富士川の開削工事は主に、了以の息子である素案、吉田与一、玄之が実施しました。素案は、朱子学や和算や地理学など博学の人であり、素案の知識や経験が富士川開削工事に大変生かされたと言われていました。鰍澤には、今でいえば角倉の出張所も置かれました。幕府と角倉との調停をしたのが、大久保長安・本多正純です。特に大久保長安は、元々は武田家の家臣であり、湯之奥金山などを開削しています。それを認められ、江戸幕府の幕臣に抜擢され、佐渡金山や石見銀山の発掘を行っています。開削工事とそれに関わった人を紹介することは価値のあることだと思います。私は、了以の木像が祭られている京都嵐山の千光寺大悲閣、嵐山の一番奥で、一番高いところで建てられているお寺ですが、これは了以が開削工事に携わって、犠牲になった人たちを供養するために建てられたものですが、そこに木造が安置されていますので、それを見にいきました。大林住職からいろいろとお話を伺いました。住職自身も角倉の研究で富士川町を訪れたことが何回かあるそうです。資料館開設にあたり、資料提供にも協力していただけるということでした。

再質問になります。箱原集落には貴重な古文書が残っています。入会地の利用に関する手形文書や、市川代官の久保平八郎の箱原村への年貢割り付けのお触れなどです。これは江戸時代の農民や農制統制の仕組みが非常によくわかる資料になっています。それから、駿州往還の箱原・西島間が開通するまでは箱原と鹿島間をつなぐ戸坂の渡しが重要な役割を果たしていました。禹之瀬にまつわる甲斐湖水伝説と蹴裂明神など、塩の華周辺には、貴重な資料や史跡があります。町民や子どもたちが、地域の歴史や郷土を知る学習の場となるような資料展示ができ

ると思いますが、いかがでしょうか。

○議長（長澤健君）

生涯学習課長 依田正紀君。

○生涯学習課長（依田正紀君）

ただいまの質問にお答えします。資料展示については、施設内に企画展を行えるスペースを確保し、常設展示できない資料を企画展において展示することを考えております。舟運に限らず、さまざまな企画展を計画し、常設展示と併せて、県内の小中学生の総合的な学習にも参考となる展示を目指していきたいと考えております。以上です。

○議長（長澤健君）

望月眞君。

○5番議員（望月眞君）

大賛成です。ぜひいろいろな角度から展示を考えていただきたいと思います。再質問をお願いします。企画展となる展示物を用意する場所はどのように考えておられますか。

○議長（長澤健君）

生涯学習課長 依田正紀君。

○生涯学習課長（依田正紀君）

ただいまの質問にお答えします。展示場所等につきましても、今後検討委員会で検討していきたいと考えております。以上です。

○議長（長澤健君）

望月眞君。

○5番議員（望月眞君）

今回の条例に、塩の華の食べ物を作る施設を道の駅のほうへ新設をするという提案がなされていますが、そうすると現在の塩の華の2階は空くことになる。そういうところを活用して、企画展などをしていただけたらと、そんなふうに思います。

再質問をお願いします。村田写真館の写真資料や小原屋商店保有の現存する「鰯澤塩」などの現物資料も展示資料として活用できないかを伺います。

○議長（長澤健君）

生涯学習課長 依田正紀君。

○生涯学習課長（依田正紀君）

ただいまの質問にお答えします。どちらの資料も非常に価値のある資料ですが、これら個人の所有の財産であるため、所有者の意向を確認しまして、所有者からの資料提供が可能であれば企画展等で展示を行っていきたいと考えております。以上です。

○議長（長澤健君）

望月眞君。

○5番議員（望月眞君）

再質問です。小原屋商店は、塩問屋や燃料販売で大変栄え、当時の貴重な資料がたくさん残っています。当時のままの蔵は、国の登録有形文化財にも指定されています。歴史資料館の開設に伴い、資料の保存や蔵の整備など町の支援も必要だと思いますが、いかがでしょうか。

○議長（長澤健君）

生涯学習課長 依田正紀君。

○生涯学習課長（依田正紀君）

ただいまの質問の答えします。小原屋原田商店は、店蔵、塩蔵、油蔵、文庫蔵、新座敷の5棟が文化庁の登録有形文化財に登録されておりますが、現在、登録有形文化財の改装等に対する町の補助金はありません。町としては、所有者に改装等の意向がある場合には、改装方法や国の補助金の利用等、情報提供支援をしていくことと考えております。以上です。

○議長（長澤健君）

望月眞君。

○5番議員（望月眞君）

後世に残していきたい資料です。なかなか町独自ということではできないかもしれませんが、いろんな面で、ぜひ保存に協力していただきたいと、そんなふうに思います。

御坂の県立博物館には富士川舟運展示コーナーがあります。私は、県立博物館を視察し、森学芸課長さんと話しましたが、歴史資料館開設計画があると知り大変喜んでいました。県立博物館としても協力を惜しまないとのことでした。資料館設立や展示内容に関して、県立博物館学芸員、町内の有識者等の協力やアドバイスをぜひ受けていただきたいと、そんなふうに思います。

(4)の質問になります。この質問は、小林有紀子議員も一般質問に取り上げていましたが、先に私が通告したので私が質問させていただきます。「富士川町歴史資料館」は、新たな観光開発や地域の活性化に繋がるものと期待されます。「富士川町歴史資料館」を中心とした新たな観光振興施策について検討しているかを伺います。

○議長（長澤健君）

産業振興課長 遠藤悦美さん。

○産業振興課長（遠藤悦美さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。教育委員会において、整備を予定しております歴史文化施設は、富士川舟運を中心とした歴史資料館と町にゆかりのあ

る人物を紹介する人物館を検討しております。こうした施設を活用した観光振興施策としましては、新たな周遊コースの設定が考えられます。

今後は、この施設を中心とした地域にある、かじかの湯やつくたべかんをはじめとする町内の観光施設と連携するとともに、大柳川溪谷を中心に、点在する観光資源を巡るコースの設定を行いたいと考えております。

また、コース設定後は観光周遊マップなど各種パンフレットへの反映やSNS等でPRを行い、誘客による町及び地域の活性化を図って参ります。

○議長（長澤健君）

望月眞君。

○5番議員（望月眞君）

ぜひお願いしたいと思います。先般作られた富士川町観光周遊マップを手元に持っていますが、これにも富士川舟運の歴史を辿るという紹介がなされています。ただ、これはこの時点においては、まだ開設される資料館のことも触れられていないので、また再度、この検討をし直していただきたいなというふうに思います。それから、観光バスの誘致も積極的にしていただいて、次の質問で十谷の大型バスの駐車場について質問しますが、それらを利用して大柳川と周ったり、つくたべかんを周ったり、かじかの湯を周るような観光バスツアーの計画なども、提起したらいいのではないかと考えています。

再質問をお願いします。県内の各学校や観光関係施設に「富士川町歴史資料館」開設を周知するとともに、小学校での遠足コース、中学校での歴史県内巡りコース、これは子どもたちが行ってみると、帰ってお父さんやお母さんや上の人たちに話をしますよね。そういったところから、訪れてみようという人たちがきっと増えるのではないかと考えていますので、ぜひそんな試みも考えていただきたいといます。観光客へのお勧めコースとして紹介を図れば良いと思いますが、いかがでしょうか。

○議長（長澤健君）

産業振興課長 遠藤悦美さん。

○産業振興課長（遠藤悦美さん）

ただいまのご質問の、施設の周知やコースの紹介についてのご質問にお答えいたします。歴史文化施設では小中学校の総合的な学習の参考となるような展示内容を目指していることから、教育委員会と連携をし、施設の周知と併せまして、この施設を含めた新たな周遊コースについて、県内の各学校や観光関係施設への紹介を行って参りたいと考えております。

○議長（長澤健君）

望月眞君。

○5番議員（望月眞君）

ぜひ、お願いいたします。訪問客の楽しみは、食べたりお土産品を買ったりすることもあると思います。館内に飲食コーナー・販売コーナーを設置しないのであれば、近隣及び町内の飲食店やお土産品を紹介するパンフレットラックなどを置いたらどうかと思います。駐車場を活用した定期的な地産物販売市を開催したらよいと思いますが、いかがでしょうか。

○議長（長澤健君）

産業振興課長 遠藤悦美さん。

○産業振興課長（遠藤悦美さん）

ただいまのご質問の飲食店の紹介などについてのご質問にお答えいたします。歴史文化施設におきましても町内観光情報等の発信が必要であると考えられますので、教育委員会と連携をしまして、パンフレットの設置を行って参りたいと考えております。

また、交流センター塩の華の駐車場では、現在も第2第4日曜日によりみちマーケットとしまして朝市を開催しております。この朝市におきまして、地域の地産物の販売も可能であることから、継続して開催して参りたいと考えております。

○議長（長澤健君）

望月眞君。

○5番議員（望月眞君）

ぜひご配慮をお願いします。富士市では、合併前の旧富士川町エリアに「富士川歴史街道プロジェクト」を立ち上げ、富士川右岸の歴史史跡や観光資源を活用して観光振興施策を展開しています。また「富士山かぐや姫ミュージアム」を開設して、これは歴史資料館も併設していますが、こういった先進事例を参考にしたいと考えています。

建設省を退職後、NPO法人「建築から社会に貢献する会」の理事長を務めた宮田章氏は、著書「角倉了以の世界」のまとめで、「富士川には残念ながら開発時の面影を残すものはほとんどないが、今でも了以さんと、富士川舟運の功労者として、その名を口にする古老もいるという。富士川舟運を糸口とした今後の観光開発の取り組みに期待される。」と結んでいます。富士川舟運の開削・運行・繁栄から衰退は、江戸時代以降の富士川町の生活の変遷や歴史を物語っています。地域の歴史を学び先人の生活や思いに触れ、物資の交流や、人と人との交流について学び、考えを深める場となり、地域の活性化や町の観光振興の場となるような「富士川町歴史資料館」の開設を期待して、次の質問に移ります。

○議長（長澤健君）

質問の途中ですがここで暫時休憩します。

○議長（長澤健君）

休憩を解いて再開します。

望月眞君。

○5番議員（望月眞君）

2番目の質問事項、十谷大型バス駐車場についての質問です。今年の秋は新型コロナウイルス感染症の影響で、大柳川溪谷を訪れる人も少ないかと思いましたが、結構、観光客が訪れていました。土日や祝日には十谷集落内の3つある駐車場が満杯状態でした。車道脇に駐車している車も目立ちました。大型バスの乗り入れが増えれば「富士川町歴史資料館」開設に伴い、観光客の誘致にもつながります。十谷集落内への大型バス駐車場設置の進捗状況を伺います。

○議長（長澤健君）

産業振興課長 遠藤悦美さん。

○産業振興課長（遠藤悦美さん）

十谷大型バスの駐車場の進捗状況について答えいたします。本町を代表する観光資源であります大柳川溪谷には、これまでも毎年多くの観光客が大型バスで訪れており、大型バス駐車場は欠かせないものと考えております。

こうしたことから駐車場整備を計画し、平成30年度に事業用地について調査業務を、令和元年度には設計業務を行ったところであり、明年度に工事着手して参りたいと考えております。

また、駐車場の整備予定地には私有地もあることから、現在用地取得に向け、地権者の皆さまと用地交渉を進めている状況であります。

○議長（長澤健君）

望月眞君。

○5番議員（望月眞君）

再質問をお願いします。県道から駐車場まで、かなりの急勾配になることが予想されますが、駐車場への進入路と駐車可能台数についての計画を伺います。

○議長（長澤健君）

産業振興課長 遠藤悦美さん。

○産業振興課長（遠藤悦美さん）

駐車場へ進入路と駐車可能台数につきまして、現在の計画では、県道十谷鬼島線から大型バスの進入を可能とするため、駐車場までの勾配を考慮し、緩く蛇行させた進入路を新たに設け、大型バス6台、普通自動車9台分を確保した駐車場とするものであります。

○議長（長澤健君）

望月眞君。

○5番議員（望月眞君）

駐車場までの勾配も考慮しながら、新たな進入路ということだと理解しました。大型車が6台、普通車が9台程度駐車できるスペースだということですが、再質

問お願いします。駐車場内のトイレ、案内板の設置についてはどのように計画しているか伺います。

○議長（長澤健君）

産業振興課長 遠藤悦美さん。

○産業振興課長（遠藤悦美さん）

ただいまの駐車場のトイレ、案内板等の設置についてのご質問にお答えいたします。駐車場敷地内のトイレにつきましては、その規模、形態については確定しておりませんが、設置するよう計画しております。

また、案内板につきましては、十谷入口への駐車場案内板の設置や、駐車場内から大柳川溪流公園及び遊歩道への案内板の設置を考えております。

○議長（長澤健君）

望月眞君。

○5番議員（望月眞君）

トイレは絶対に必要だと思いますので、障害を持っている人も使えるようなトイレを設置していただきたいと思います。

次の質問に移りますが、（2）の質問です。観光客の安全性を考慮すると、駐車場から大柳川溪流公園・十谷集落への歩道の整備も必要になると思いますが、歩道を整備する計画があるかを伺います。

○議長（長澤健君）

土木整備課長補佐 山形謙一郎君。

○土木整備課長補佐（山形謙一郎君）

ただいまのご質問にお答えします。十谷地内に建設を予定しております大型バス駐車場からの道路は、十谷集落へ通じる町道十谷プール線、大柳川溪流公園へ通じる町道十谷中河原線の2路線があり、日々、維持管理に努めているところであります。本路線は、これまで紅葉シーズン等に大勢の方々に利用されてきましたが、道幅が狭く、また地形が急峻であることから、歩道の整備は困難であると考えております。以上です。

○議長（長澤健君）

望月眞君。

○5番議員（望月眞君）

私も何回か集落へ向かう道を歩いていますが、歩道整備予定はないということですが、駐車場から集落へ向かう道は急勾配で、かなり老朽化しています。切れ目、クラックもでています。逆にそれが滑り止めになるような働きはしているんですが、車道脇には朽ちた老木も目立ちます。垂れ下がったりしています。また落石等も心配されます。定期的な安全管理が必要だと思いますが、いかがでしょうか。

○議長（長澤健君）

土木整備課長補佐 山形謙一郎君。

○土木整備課長補佐（山形謙一郎君）

ただいまのご質問にお答えします。年間を通し、大勢の方々に利用されておりますので、今後も定期的にパトロールを行うなど、安全管理に努めて参りたいと考えております。以上です。

○議長（長澤健君）

よろしく申し上げます。以上で私の質問を終わります。

○議長（長澤健君）

以上で通告3番 5番 望月眞君の一般質問を終わります。